

平成 26 年 5 月 20 日

## 日本生活支援学会誌投稿規程

### 1. 投稿者の資格

投稿者（筆頭著者）は、本学会会員とする。

ただし、編集委員会からの依頼原稿は、この限りではない。

### 2. 原稿の種類

原稿の種類は、原著論文、研究ノート、資料、実践報告であり、著者はそのいずれかを明記する。論文の内容は、他の出版物（国の内外を問わず）にすでに発表あるいは投稿されていないものに限る。

**原著論文**は、本学会の趣旨に沿った生活支援に関する内容で、適切な方法に基づいて研究され、新しい知見を得ようとする論文であり、また当該研究領域における先行研究を踏まえた上で、さらに先行研究と比較してどのような結果が得られたのかという考察が明示されていることが必要である。

**実践報告**は、本学会の趣旨に沿った生活支援に関する内容で、経験知に基づく実践・事例報告であること。

**資料**は、本学会の趣旨に沿った生活支援に関する内容で、有用なものであること。

### 3. 倫理的配慮

投稿論文の中で、実践に関わるものにおいては、対象者およびその家族個人の人権を損なうことのないよう、十分配慮されたものであること。個人や機関が特定されないようプライバシー保護に留意すること。また倫理的配慮については、本文中に明記すること。

### 4. 原稿の送付

原稿は、紙媒体 3 部（うち 2 部は複写でもよい）、官製はがき（筆頭著者の宛先、論文題名を記載）、振り込み控え（コピー可）を、下記宛、書留郵送する。封筒の表に「日本生活支援学会誌原稿」と朱書する。

原稿送付先 原稿送付先 〒〒489-0875 愛知県瀬戸市緑町2-35

重松義成（「日本生活支援学会」編集委員会）宛

### 5. 投稿料

投稿料は投稿原稿 1 編につき 5,000 円とする。

次の銀行口座に必ず投稿者本人の名前で振り込む（振込み手数料は投稿者の負担とする）。

投稿料振込先 ゆうちょ 銀行 00250-2-81670

口座名義人：生活支援学会

## 6. 原稿の締切日

8月31日（必着）とする。

## 7. 原稿の受付および採否

- 1) 原稿の到着日を受付日とする。
- 2) 受付日と到着順に付す受付番号を、投稿者にはがきで通知する。
- 3) 原稿の採否は、本会の査読委員2名の査読を経て、編集委員会で決定する。
- 4) 投稿された原稿は原則として返却しない。

## 8. 著者校正

著者校正は1回のみとし、校正の際の加筆は原則として認めない。

## 9. 著作権

会員の権利保護のために、掲載された原稿の著作権は本会に属するものとする。他者の著作権に帰属する資料を引用するときは、著者がその許可を得るものとする。

## 10. 最終原稿提出

最終原稿提出時には、紙媒体2部と電子媒体（CD-ROM または USB メモリ）を書留で郵送する。郵送は投稿先と同じ。

## 11. 掲載論文

- 1) 掲載された論文については、投稿者に掲載誌を1部進呈する。
- 2) 印刷上特別に要した費用は著者負担とする。
- 3) 別刷は50部限定で実費負担とする。

## 12. 原稿の執筆要領

- 1) 投稿原稿は、原稿の種類を問わず、1編が12,000字以内（図、表を含む）を原則とする。また、総枚数は12ページを超えないこととする。
- 2) 原稿は原則として、MS-Wordで作成する。
- 3) 原稿は、日本生活支援学会の学会誌投稿サイトから様式をダウンロードし、明朝体10.5ポイントで作成する。
- 4) 原稿には指定の表紙を付けること。
- 5) 要旨は400文字以内、キーワードは5語以内とする。
- 6) 常用漢字、現代かなづかい、算用数字を用い、簡潔に記述する。句読点は、「、」「。」を使用する。
- 7) 外来語はカタカナで、外国人名、日本語に成り立っていない語は活字体の原綴りで書く。
- 8) 脚注は注1、注2と記述し文末にまとめて打ち、文中には組み込まない。
- 9) 図、表および写真は、図1、表1、写1などの番号を付け、文中に挿入する。

10) 文献は次の様式によって記載する。

- ① 引用文献については、本文中の引用箇所<sup>1)</sup> <sup>2)</sup>のように番号で示し、本文原稿の最後に一括して、引用番号順に記載する。
- ② 参考文献を掲載する場合は、著者名のアルファベット順に列記する。
- ③ 記載方法は以下の通りにする。なお、著者が4名以上の場合は、筆頭者から3名とし、それ以上は「…他」または「…et al.」とする。

#### 【日本語雑誌】

- ・著者名（発行年）「タイトル」『雑誌名』巻（号），ページ。

例) 黒澤貞夫 (2010) 「生活支障の特性からみた介護-さまざまな事例を通して-」  
『介護福祉』78, 7-21.

- ・同じ著者の文献が複数ある場合：発行年のあとに、アルファベットをつけ区別する。
- ・共著の場合は、著者名を「・」でつなぐ。

#### 【日本語単行本】

- ・著者名（発行年）『書名』出版社。

例) 黒澤貞夫 (2006) 『生活支援学の構想—その理論と実践の統合を目指して』川島書店。

#### 【外国語雑誌】

- ・著者名（出版年）タイトル [最初とコロンの直後の単語を大文字で始める] . 雑誌名 [イタリックで、各単語を大文字で始める] , 巻(号) , ページ。

例) Edwards, J.B., Oppewal, S. & Logan, C.L. (2003). Nurse managed primary care :  
Outcomes of a faculty practice network. *Journal of American Academy of  
Nurse Practitioners, 15, 563-569.*

#### 【外国語単行本】

- ・著者名（出版年）書名 [イタリックで、各単語を大文字で始める] . 出版社。

例) Annegret Camps, Brigitte Hangerhoff, Ada van der Star (2009)  
*Anthroposophical Care for the Elderly*, Floris Book.

#### 【外国語単行本の日本語版】

- ・著者名（出版年）, 書名 [イタリックで、各単語を大文字で始める] . 出版社（訳者姓名（出版年）『書名』出版社）。

例) Milton Mayeroff (1971) *On Caring*. HarperCollins (田村真・向野宣之訳(2005)  
『ケアの本質』ゆみる出版)。

【ホームページ】

・著者（公表年または最新の更新年月日）．「タイトル」．Retrieved アクセスした日付, from ホームページアドレス

例) 厚生労働省（2010.3.3）．「平成21年度介護従事者処遇状況等調査結果」．

Retrieved 2010.4.1, from <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kaigo/jyujisya/09/dl/09a.pdf>

【外国語文献の著者名の表記ルール】

外国語文献における著者のFirst name は、イニシャルではなく、フルネーム表記とする。ただし、原典がイニシャル化してあり、フルネームがわからない場合などは例外的にイニシャルの使用でも可とする。